



の マスコットキャラクター
「いよらッキー」



国体の開催に向け、準備を進めています!

東海村実行委員会・第3回総会

4月4日に東海文化センターで、いきいき茨城ゆめ国体東海村実行委員会の第3回総会が行われました。昨年度開催されたリハーサル大会を中心とした1年間の活動報告がされたほか、国体本番となる今年度の事業計画や予算が審議され、全て可決されました。

9月29日(日)からは、いよいよ「いきいき茨城ゆめ国体」ホッケー競技が開催されます。来場者へのおもてなしや茨城チームの応援など、大会を成功させるためには村民の皆さん一人ひとりの協力が不可欠です。みんなで一緒に国体を盛り上げましょう。



◆ホッケー競技開催情報◆

「いきいき茨城ゆめ国体」ホッケー競技

期 間▼9月29日(日)から10月3日(木)まで
(5日間)

会 場▼阿漕ヶ浦公園、県立東海高等学校

入場料▼無料

参加チーム数▼40チーム(成年男子・成年女子・少年男子・少年女子、各10チーム)

みんなで茨城県代表
チームを応援しよう!

Road to 2019! ~
国体への道~ の
バックナンバーは、
村公式ホームページ
でご覧になれます!



▲ホームページ



【問い合わせ】国体・スポーツ推進課(☎282-1711 内線2019)

「保育」というおしごと

—保育者からのメッセージ—



“子どもたちと関わることで、自分も、
周りの人も好きになれる、すてきな仕事”

「自分を好きでいられること」は、とてもすてきなことだと思いませんか。中学、高校の頃の私は明確な目標がなく、何かに取り組んでも中途半端で、どこか自分のことを好きでいられませんでした。そんなもやもやした時期に、授業の一環で幼稚園の子どもたちと関わるというものがあり、一緒に芋掘りや鬼ごっこをして遊びました。子どもたちが私を見つめる視線は、思わず目をそらしてしまいうくらい純粋なものだったことを、今でもはつきりと覚えています。

素直な心で接してくれる子どもたちとの時間は、本当に楽しかったです。同時に小さい頃、親戚や近所の小さい子どもたちと遊ぶのが好きだったこと、年の離れた兄弟がうらやましかったことを思い出しました。これが、私が保育者になってみようと思った瞬間でした。そこからの行動力は自分でも驚くほどで、親に保育士になりたいことを伝え、短大へ進路希望を出し、保育者への扉を開けることができました。

現在、保育者としてたくさん子どもたち、保護者、保育者の仲間たちと関わっています。人と関わることで、自分自身を見つめ直すことができ、新たな自分に出会うチャンスがたくさんあります。もちろん、周りの人たちの温かい励ましや、子どもたちの溢れる元気にパワーをもらうことで乗り越えることができ、自分の成長を実感できます。

私は保育者になったことで自分や周りの人たちのことを好きになりました。保育者になって、本当に良かったです。未来の保育者の皆さんとの出会いを、楽しみにしています。

とうかい村松宿こども園
渡辺 俊行 指導保育教諭